

「生乳検査精度管理認証制度」における外部精度管理調査の標準値と許容範囲について（お知らせ）

平成30年度 第1回 生乳検査外部精度管理調査の標準値(成分・体細胞数)及び許容範囲をお知らせします。

I. 標準値

1. 成分（絶対値評価）

	(単位：%)	29年度第2回			29年度第3回		
		試料1	試料2	試料3	試料1	試料2	試料3
都府県 標準値	乳脂肪分	3.86	3.80	3.54	3.85	4.04	3.83
	無脂乳固形分	8.84	8.73	8.63	8.82	8.80	8.67

	(単位：%)	29年度第4回			30年度第1回		
		試料1	試料2	試料3	試料1	試料2	試料3
都府県 標準値	乳脂肪分	3.79	4.09	3.94	4.02	3.68	3.70
	無脂乳固形分	8.94	8.89	8.85	8.87	8.81	8.63

標準値：都府県においては参加施設の測定値に統計処理を実施した後の平均値

	(単位：%)	29年度第2回			29年度第3回		
		試料1	試料2	試料3	試料1	試料2	試料3
北海道 標準値	乳脂肪分	3.87	3.80	3.53	3.85	4.04	3.84
	無脂乳固形分	8.86	8.73	8.65	8.83	8.81	8.68

	(単位：%)	29年度第4回			30年度第1回		
		試料1	試料2	試料3	試料1	試料2	試料3
北海道 標準値	乳脂肪分	3.77	4.08	3.93	3.99	3.67	3.68
	無脂乳固形分	8.95	8.89	8.85	8.91	8.82	8.65

標準値：北海道においては(公社) 北海道酪農検定検査協会のマスターマシン測定値

2. 体細胞数（相対値評価）

区 分	共通試料 A	共通試料 B
標準値(10 ³ /ml)	200	330

Ⅱ. 許容範囲（生乳検査精度管理審査・認証規程 第Ⅱ章第4条）

1. 成分（絶対値評価：赤外分光多成分測定装置の場合）

（都府県）

29年度 第4回	（単位：％）	試料1	試料2	試料3
	乳脂肪分	3.74 ~ 3.84	4.04 ~ 4.14	3.89 ~ 3.99
無脂乳固形分	8.87 ~ 9.01	8.82 ~ 8.96	8.78 ~ 8.92	
30年度第 1回	（単位：％）	試料1	試料2	試料3
	乳脂肪分	3.97 ~ 4.07	3.63 ~ 3.73	3.65 ~ 3.75
無脂乳固形分	8.80 ~ 8.94	8.74 ~ 8.88	8.56 ~ 8.70	

（北海道）

29年度第 4回	（単位：％）	試料1	試料2	試料3
	乳脂肪分	3.72 ~ 3.82	4.03 ~ 4.13	3.88 ~ 3.98
無脂乳固形分	8.88 ~ 9.02	8.82 ~ 8.96	8.78 ~ 8.92	
30年度第 1回	（単位：％）	試料1	試料2	試料3
	乳脂肪分	3.94 ~ 4.04	3.62 ~ 3.72	3.63 ~ 3.73
無脂乳固形分	8.84 ~ 8.98	8.75 ~ 8.89	8.58 ~ 8.72	

2. 体細胞数（相対値評価：迅速測定機のみ対象）

30年度 第1回	区 分	共通試料A	共通試料B
	標準値(10 ³ /ml)	170 ~ 230	297 ~ 363

* 認証申請にあたっては、原則として外部精度管理調査において申請時期以前の直近2回の結果が連続して許容範囲以内であること、ただし申請時期以前の直近2回の結果が許容範囲から逸脱している場合でも、累積減点法の対応が事前警告の範囲内であり、原因究明ができており改善措置が講じられている場合は、要件を満たすものとする事とされています（審査・認証規程第Ⅰ章第4条2.（3）、第11条1.（2）①）。

（本資料のお問い合わせ先：高畑 TEL03-3264-1921）